

横浜市インフルエンザ流行情報 1号

横浜市健康福祉局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

横浜市内がインフルエンザの流行期に入りました。

【概況】

2022年第51週(12月19日～12月25日)の定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **2.61** と、流行開始の目安となる 1.00 を上回りました。インフルエンザの流行期入りは 2019/20 シーズン以来となります。

学級閉鎖等は、第49週(12月5日～12月11日)以降報告されており、第51週現在、合計5件(小学校5件、中学校0件)、患者数42人です。

今シーズン第51週までの市内の迅速診断キットの結果は、累計で **A型 98.4%、B型 1.6%** と、A型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況^{※2}では、AH3型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様です。

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。本格的な流行の前に、ワクチン接種、発熱などの体調不良時に備えた検査キットや解熱鎮痛薬の用意、咳エチケットや正しい手洗い^{※3}等、早めの準備^{※4}が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)から報告された患者数の平均値です。

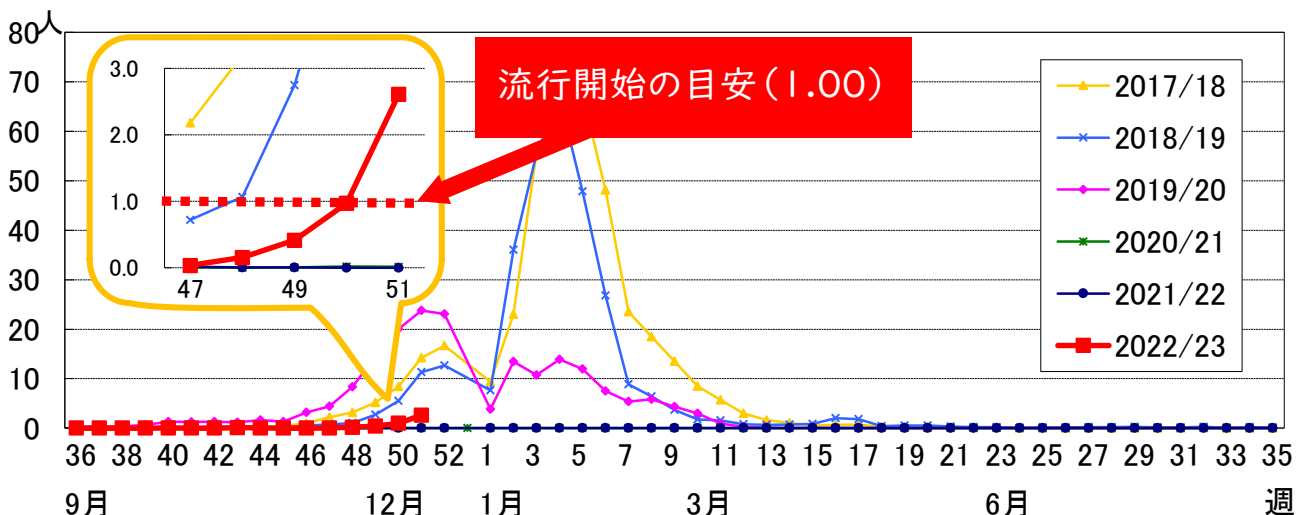
※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、第48週は0.15、第49週は0.42、第50週は0.97と増加し、第51週で2.61となり、流行開始の目安となる1.00を上回りました。



地図で表した直近3週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

【参考】

直近流行(2019/20シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり1.00以上】

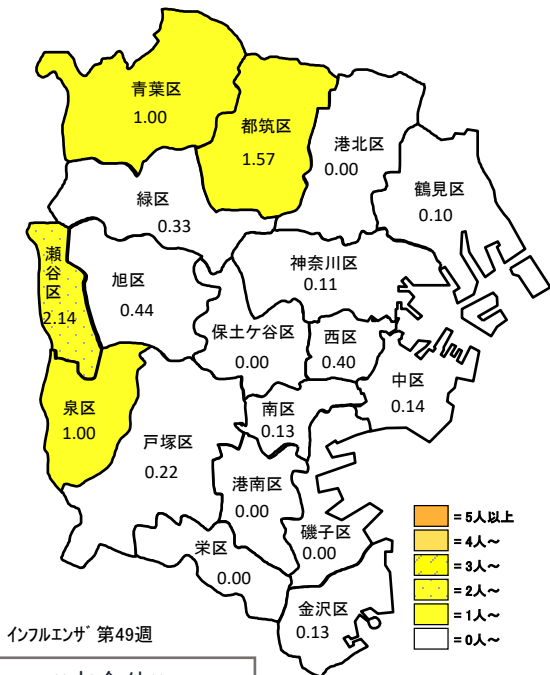
第40週(2019年9月30日~10月6日)

流行注意報発令【定点あたり10.00以上】

第49週(2019年12月2日~12月8日)

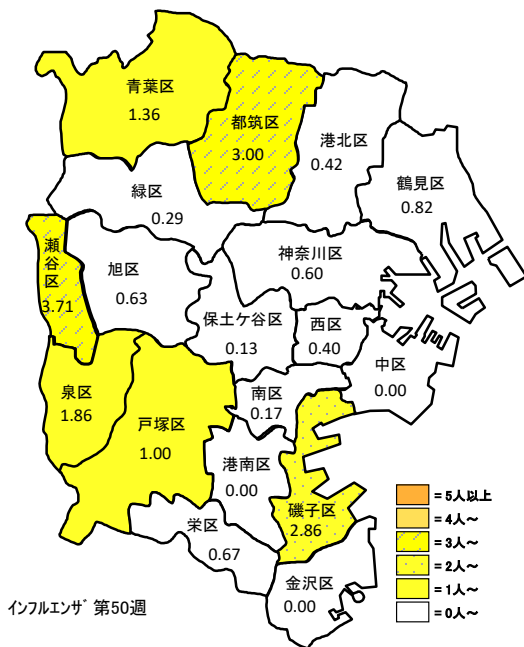
流行注意報解除【定点あたり10.00未満】

第6週(2020年2月3日~2月9日)



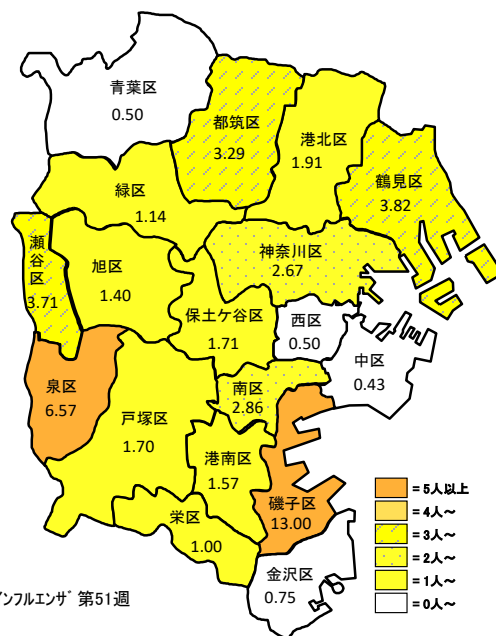
インフルエンザ 第49週

《市全体》
第49週 0.42



インフルエンザ 第50週

《市全体》
第50週 0.97



インフルエンザ 第51週

《市全体》
第51週 2.61
【流行開始】

※参考リンク

近隣自治体の流行状況

- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
横浜市健康福祉局健康安全課

TEL 045(370)9279
TEL 045(671)2442